



白壁の美しい100mの廊下が名物だった福栄小学校、この学校に思い出のある方もいらっしゃると思います。この校舎もいよいよ解体が決まり、この夏に最後のイベントとして「星とあおばの文化祭」が行われました。

地元の方が校舎のライトアップをしました。機材を持ち込んで建物をスクリーンとしてのプロジェクションマッピング（動画投影）をした際には懐かしい映像に歓声があがりました。昼間には教室をアート会場としての作品展示を行い、最後の賑わいをみせていました。

主催の日南浪漫研究部の方にお話を伺いました。

日南町のよさを伝えられる取り組みをしたいと、2年前に地元の同級生5人で立ち上げたそうです。今回は初めてのイベントで、ほとんどがUターンの人で、まだ県外で活動をしている人もいるとの事。これからも日南町を盛り上げていく活動をお願いします。

そして今、木造建築物の良さが、見直されてきています。

現在の日南小学校も、木をふんだんに使った校舎です。この学び舎で沢山のことを学び、林業のまち日南町について沢山の思い出を作りたいと思っています。